

流域治水普及・推進の紙芝居（小さなヒーロー バケツダム）



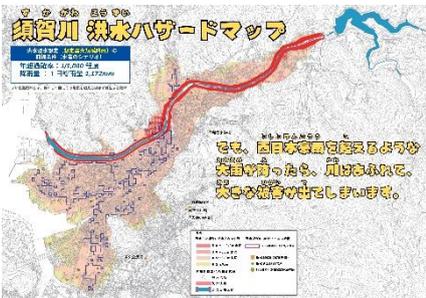
① 防災紙芝居「小さなヒーロー バケツダム」の始まり、始まり。



② まずは、大きなヒーローを紹介します。
宇和島のヒーロー、須賀川ダム。
須賀川ダムは、50年ちかく前に造られてからずっと、
私たちの暮らしを水の被害から守ってくれています。



③ ダムには、大雨のときに洪水の被害を軽減させる役割があります。
それを「治水」といいます。
平成30年の西日本豪雨の時も雨水をためて、
川に流れる水の量を抑えてくれました。



④ でも、西日本豪雨を超えるような大雨が降ったら、
千年に一回の大雨による洪水ハザードマップのように、
川はあふれて、大きな被害が出てしまいます。



⑤ ここで防災クイズです。洪水の被害を減らすために、大雨の時に
お家でできる取り組みはどれかな？
1 番 お風呂のお湯を抜いて、掃除をする。
2 番 洗濯をして、部屋の中に干す。
3 番 庭にバケツを置いて、雨水をためる。
ヒント、川があふれそうな時に、さらに水を流したらどうなるかな？



⑥ 答えは、3番。庭にバケツを置いて、雨水をためる。
が正解です。
そう、小さなヒーロー バケツダム です。



バケツダムのように、地域のみんなで協力して水害のリスクを減らしていく取り組みのことを



と言います。



みんなもヒーローになって えひめをまもろう!!



⑦

みんなも、大雨になりそうな日は、庭にバケツを並べてみましょう。バケツダムで、街に流れ出る雨水を少なくできるはず。

⑧

バケツダムのように、地域のみんなで協力して水害のリスクを減らしていく取り組みのことを流域治水と言います。水の『流』れる地『域』の治水なので、流域治水です。

⑨

こども食堂やみんなのお家で使われるお米は、農家の皆さんの田んぼで作られています。お米になる稲は、田んぼに水をはって、育てられています。大雨の時には、たくさんの雨水が田んぼにたまります。なので、田んぼも大きなバケツです。田んぼダムは大きな流域治水ですね。

⑩

私たちが使う小さなバケツ、雨の日にはバケツダムになって活躍してくれますが、晴れた日にお花の水やりで使ったり、バケツリレーで火事を消す時など、緊急用にも使えます。能登半島地震の被災地もそうですが、トイレの水に困った時は、バケツを使って流すこともできますよ。

⑪

バケツダム
グリーン、ブルー、ピンク、イエロー、レッド
みんなもバケツダムのようなヒーローになって、水の被害から愛媛を守ってください。

⑫

愛媛県のイメージアップキャラクター みきゃんも流域治水の取り組みを応援しています。おしまい。